

## 【 北区 】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく胃がん検診の実施状況&gt;

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	67,254	77,845	145,099
【東京都調査による対象者率(区部)：58.7%】			
実際の受診者数	1,120	1,668	2,788

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.3%	7.0%	6.2%
要精検率	11%以下	18.6%	11.5%	14.3%
精検受診率	70%以上	67.8%	75.9%	71.7%
精検未把握率	10%以下	32.2%	24.1%	28.3%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.9%	0.0%	1.0%
がん発見率	0.11%以上	0.36%	0.00%	0.14%

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	胃部X線(35~39歳)
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

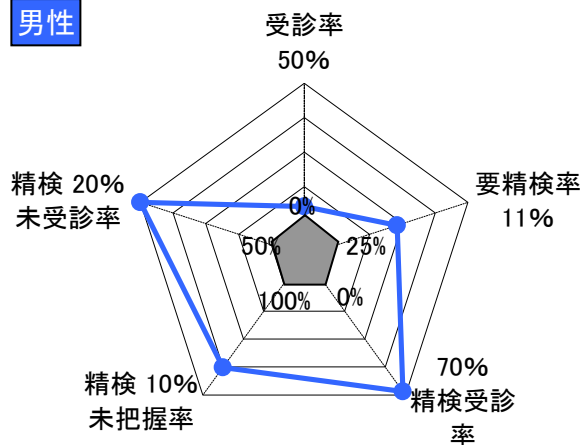
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」

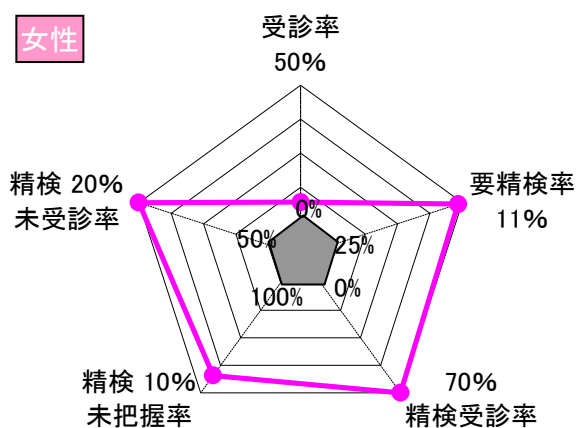
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【 北区 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	94,922	102,615	197,537
【東京都調査による対象者率（区部）：62.3%】			
実際の受診者数	2,638	4,794	7,432

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.5%	7.5%	6.0%
要精検率	7%以下	10.3%	7.2%	8.3%
精検受診率	70%以上	56.3%	63.7%	60.4%
精検未把握率	10%以下	43.8%	36.3%	39.6%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	1.5%	3.2%	2.4%
がん発見率	0.13%以上	0.15%	0.23%	0.20%

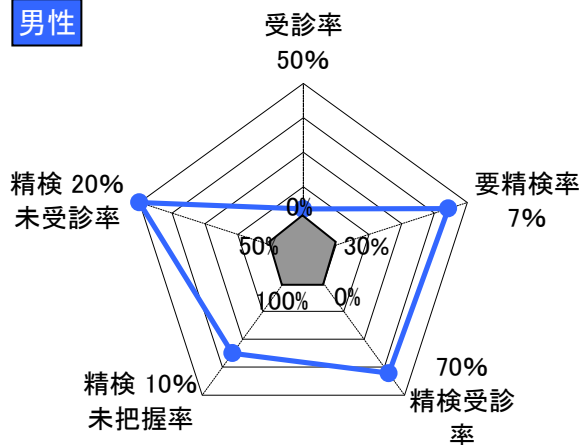
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

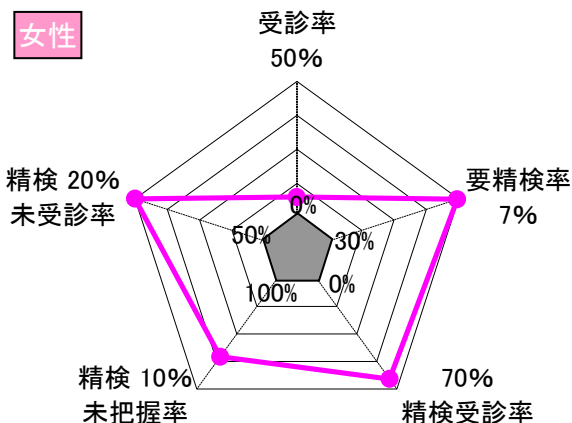
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 北区 】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		149,902	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		6,089	

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		11.2%	
要精検率	1.4%以下		2.0%	
精検受診率	70%以上		82.5%	
精検未把握率	10%以下		16.7%	
精検未受診率	20%以下		0.8%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.8%	
がん発見率	0.05%以上		0.02%	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	コルポスコープ診 (集団検診のみ)

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 【評価結果】

#### <受診率>

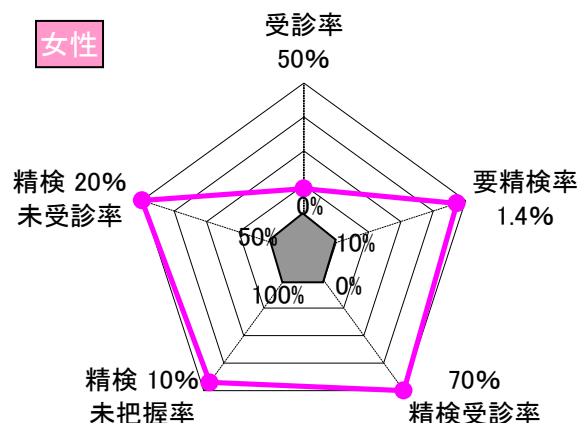
『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。



## 【 北区 】 乳がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		102,615	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		6,015	

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		16.4%	
要精検率	11%以下		8.8%	
精検受診率	80%以上		96.4%	
精検未把握率	10%以下		3.6%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		3.6%	
がん発見率	0.23%以上		0.32%	

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

